



年末手当要求の根拠はこれだ！ 満額獲得をかちとるぞ！

三多摩支部組合員からの声が続々 《その1》



期末手当はすでに生活給になっているからこそ電気、ガス、水道、ガソリン、野菜、肉、など生活必需品がことごとく値上げされコロナでお客さまが減ったとは言え仕事量的にはより細やかなサービスを提供してきた。定期昇給も夏季手当も抑制されこれ以上の抑制は**死活問題**。

年末手当などの一時金も生活（死守）給として考えてきた。学費含む養育費や住宅ローンなどに充てている。4月から様々な食費・生活費に金利も微増、これからはガソリン・電気など燃料費は上がる一方。そんな中、今まで以上のパフォーマンス（変革）を要求する、経営陣・現場管理者の「頑張ってください」。物価上昇＝値上げもどうぞして下さい。けど**賃金上昇＝賃上げもお忘れなく**。そうでないと**消費（経済）活動が続きませんから**。



輸送業務の傍ら、営業社員のスキル低下に歯止めをかけるため、仕事の大切さを丁寧に、根気よく関わることで教えてきた。会社施策や管理者への疑問や不信の念を抱く若手も増えてきた。**色々切り詰められたにもかかわらず、歯を食いしばって頑張ったことの報いは求めて当然のこと**。労働組合の組合員ならなおのこと。日和見している場合じゃない。

徹底的な効率化により過去最大の赤字にも関わらず、**労働密度は大きく上げられ、実質的な賃金水準は大幅に低下**している。若手と話しをしても、労働強化と賃金水準の低下に対して**大きな不安**を持っている。輸送サービス労組が求めている 3.0 箇月について、希望の光となるものとする。



**労働密度が強化・実質賃金の低下に加え
生活必需品の値上げなど…不安の声が続々と
我々の声を訴え満額獲得をかちとるぞ！！**